

みずほCustomer Desk Report 2022/09/08 号 (As of 2022/09/07)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	143.03
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	143.17	0.9898	141.70	1.1512	0.6728
SYD-NY High	144.99	1.0011	144.00	1.1540	0.6770
SYD-NY Low	142.75	0.9875	141.42	1.1407	0.6699
NY 5:00 PM	143.77	1.0008	143.91	1.1535	0.6769
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	31,581.28	435.98	日本2年債	▲0.0800%	0.0100%
NASDAQ	11,791.90	246.99	日本10年債	0.2400%	0.0000%
S&P	3,979.87	71.68	米国2年債	3.4382%	▲0.0669%
日経平均	27,430.30	▲ 196.21	米国5年債	3.3593%	▲0.0934%
TOPIX	1,915.65	▲ 10.93	米国10年債	3.2663%	▲0.0839%
シカゴ日経先物	27,710.00	130.00	独10年債	1.5730%	▲0.0275%
ロンドンFT	7,237.83	▲ 62.61	英10年債	3.0280%	▲0.0670%
DAX	12,915.97	44.53	豪10年債	3.7550%	0.1050%
ハンセン指数	19,044.30	▲ 158.43	USDJPY 1M Vol	14.26%	0.57%
上海総合	3,246.29	2.85	USDJPY 3M Vol	13.09%	0.38%
NY金	1,727.80	14.90	USDJPY 6M Vol	12.38%	0.30%
WTI	81.94	▲ 4.94	USDJPY 1M 25RR	0.08%	Yen Put Over
CRB指数	276.52	▲ 6.11	EURJPY 3M Vol	13.16%	0.21%
ドルインデックス	109.84	▲ 0.37	EURJPY 6M Vol	12.90%	0.13%

東京	東京時間のドル円は143.17レベルでオープン。前日の米10年債利回りの高止まりを背景とするドル買いの勢いは続き、オープン前にドル円は143.50近辺まで上昇。買い一巡後はドル売りに転じ143円を割る場面があったがドル円は底堅く、日米金融政策の違いが意識される中で次第にドル買いが強まり、一時144.38まで上昇した。その後は144円近辺の狭いレンジで推移し、143.98レベルで海外時間へ渡った。なお日中、鈴木財務相から一方的な円安を憂慮する旨の発言があるも、市場の反応は限定的だった。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は143.98レベルでオープンし、先日から続く上昇の勢いが劣らず、朝方は揉み合いが先行したが、正午前にはドル買いが再燃し、約24年ぶりとなる144.99まで急昇した。その後は特段材料は見られず、144.94レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場では鈴木財務相の円安けん制発言が伝わるものの、市場の反応は限定的となり、米紙の今月のFOMCでは先日のジャクソンホールのパウエル議長の講演でのインフレに対する姿勢から、75bpの利上げが必要になるだろうとの記事が出たこともありドル買い、円売りが強まり、一時144.99まで上昇し、144.94レベルでNYオープン。朝方は米7月貿易赤字が予想以上に増加し、前回分も下方修正され赤字幅が増えたことから、ドル売りが強まり144.59まで反落する。その後一旦144.95まで戻すものの、米金利が低下する動きにドル売りが優勢となり再び144.23まで反落する。午後に入り、6月以来公の場で金融政策について発言していないブレイナード副議長が利上げし過ぎと、引き締めを早く止める両面の悪影響についての発言があり、意外性があったものの、ドル円の反応は限定的となるが、その後も米金利低下を受けたドル売りの流れが継続し、143.68まで下落し、143.77レベルでクロスした。一方、海外市場のユーロドルはドル買いに上値は重いものの、ユーロ円の買いに下値をサポートされ、0.9880レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が暫く続くが、徐々に調整とみられるドル売りが強まり、0.9954まで戻す。午後もドル売りが継続しユーロドルは1.0011まで戻し、1.0008レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:永野・大橋

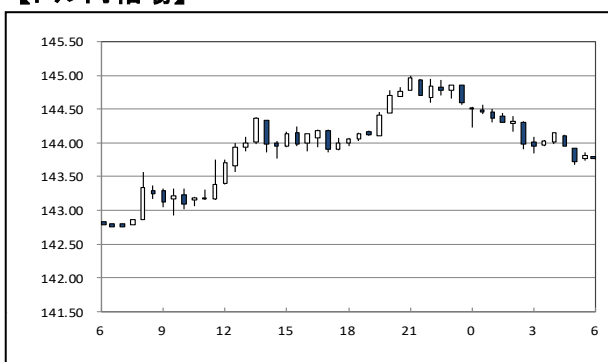
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月7日	10:30	豪 GDP(前年比)	2Q 3.6%	3.4%
	12:01	中 貿易収支	8月 \$79.39b	\$92.70b
	15:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	7月 -0.3%	-0.6%
	18:00	欧 GDP(前期比/前年比)・確報	2Q F 0.8%/4.1%	0.6%/3.9%
	21:30	米 貿易収支	7月 -\$70.6b	-\$70.2b

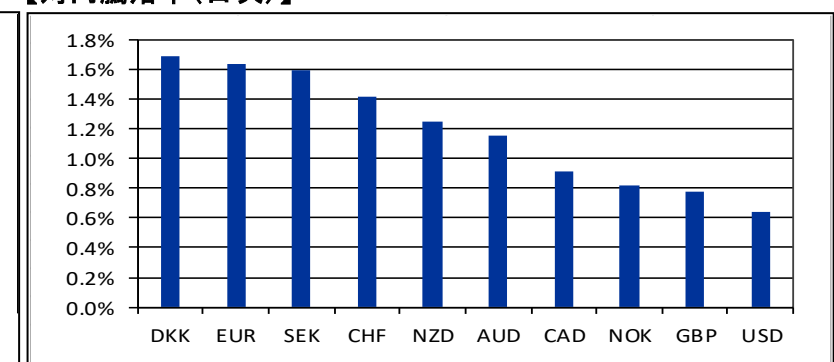
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月8日	08:50	日 GDP(前期比/年率・前年比)・確報	2Q 0.7%/2.9%	0.5%/2.2%
	21:15	欧 ECB主要政策金利	8-Sep 1.25%	0.5%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	3-Sep 235k	232k
	22:10	米 パウエルFRB議長 講演	-	-
9月9日	01:00	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-
	03:20	米 カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	143.00-146.00	0.9850-1.010	141.00-145.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円相場は上昇継続で高値更新。東京時間に143円手前でオープンしたドル円は、前日の海外時間の堅調な推移が継続し、再び143円を上抜けると買いの勢いは強まり、24年ぶりに144円台を突破。ロンドン時間に入っても米10年債利回りが3.3%台を維持する中、ドル買いが続き、ドル円は一時144.99まで上昇。しかし米国時間に入ると、世界景気減速に伴う需要減退観測から原油が売られて、10年債利回りが3.3%を下抜けると米ドルに調整が入り、ドル円も下落して143.70台でクローズした。本日も引き続き底堅い推移を予想する。ブレイナード副議長含むFED高官は引き続きインフレとの闘いを強調し、利上げの妥当性を主張している中、トレンドフォローの米ドル買いは継続するものと予想。しかし、140円を抜けてからのスピードが早く、一時的な調整による下落には要注視。